

第 32 回未来医療セミナー

<日時>：2007 年 8 月 20 日（月）18:00

<場所>：大阪大学医学部附属病院外来棟 4 階 第 1 カンファレンス室

要 旨

臨床研究は、医療分野のイノベーションを社会還元するために必要不可欠であり、新医薬品・医療機器等の実用化を加速するため、一層の推進に努めなければならない。しかしながら、国際的に見た我が国の臨床研究の水準は、基礎研究分野に比較して必ずしも十分とは言えない状況である。このような状況に鑑み、厚生労働省は、文部科学省・経済産業省と連携して、「革新的医薬品・医療機器創出のための 5 か年戦略」（平成 19 年 4 月 26 日）を策定したところである。

本 5 か年戦略においては、従来型の医薬品・医療機器等に加え、再生医療へも力強い言及をしている。例示すれば、

（1）医薬品・医療機器開発につながる予算への重点化・拡充等

ライフサイエンス関連予算の中で医薬品・医療機器開発分野へ重点化・拡充するとともに、特にバイオマーカー、テーラーメイド医療、再生医療、マイクロドーズ等といった新たな技術領域の重視。

（2）ベンチャー企業支援策の検討の場の設置

再生医療技術を含む革新的創薬・医療機器において重要な役割を担うベンチャーの育成について、関係省、研究機関及び産業界と連携して支援策の検討を行う場を設置。

（3）再生医療を推進するための拠点の整備

日本の技術が世界をリードしている分野であり、この分野の研究者の裾野を広げ、より競争的な実用化研究の環境を提供するための取組を開始。

である。

本セミナーにおいては、厚生労働省のイノベーション施策を俯瞰するとともに、再生医療にかかる行政施策に関しご紹介したい。